

平成 27 年度広島市民球場運営協議会 会議要旨

1 開催日時

平成 28 年 3 月 18 日（金） 15：00～15：40

2 開催場所

広島市役所本庁舎 14 階 第 3 会議室

3 出席者

(1) 委員 (15 名)

深山 英樹、森信 秀樹、加藤 義明、山根 恒弘、山本 治朗、畑矢 健治、
山本 一隆、徳田 洋子、石井 健一郎、川瀬 啓子、曾根 幹子、下中 奈美、
近藤 敏博、部谷 京子、松田 元

(2) 広島市

松井市長、竹内副市長、宮原都市整備局長、
野田広島駅周辺地区整備担当部長、
高野広島駅周辺地区整備担当課長

(3) 株式会社広島東洋カーブ

桂管理本部長

4 議題

- (1) 広島市民球場の運営状況等について
- (2) 平成 27 年度施設利用実績について
- (3) 2015 年カーブ球団の事業実績について
- (4) 命名権について
- (5) その他

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

報道関係者 6 社

7 会議資料

- (1) 次第
- (2) 配席表
- (3) 委員名簿
- (4) 平成 27 年度広島市民球場運営協議会資料

8 会議要旨

委員定数 20 名のうち出席者 15 名であり、定数の過半数を超えているため、協議会が有効に成立していることを事務局が説明し、議題を説明。

<議事>

事務局： それでは、ただいまから平成 27 年度「広島市民球場運営協議会」を開催いたします。皆様方には、御多忙の中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を担当いたします、広島市都市整備局広島駅周辺地区整備担当部長の野田と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、松井市長から御挨拶申し上げます。

市長： それでは「広島市民球場運営協議会」の開催にあたり、一言御挨拶をさせていただきます。委員の皆様方には、平素から我が市の市政推進に御理解、御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年、カーブについては、詳しくは申し上げませんが、私のまとめといたしますと、多くのファンを楽しませてくれたということではないかと思えます。

そして、初めて 200 万人を超える来場者、これもひとえに、松田オーナーをはじめとするカーブ球団の関係者の皆様の努力の賜物ということでございます。

そして今年、楽しませていただくということは大前提なんですけれども、カーブの活躍に対しましては、もう一つ、ワンランクアップしていただいて、楽しませるプラス喜ばせるという要素をぜひお願いしたいと思います。たぶん喜ばせるというのはファンの大きな期待を完成させる、サミットを目指して結果が出るということでありまして、今年は楽しみ、かつ、喜べるカーブということをごに願うものであります。

そしてもう一つ、本日の中心になります広島市民球場の運営に関しましては、オープンして 8 年目ということになります。

この球場運営、とりわけ施設運営に関しましては、松田オーナーの思いが至る所に込められているもので、様々な工夫が今まで行われてきているんですけども、今年も新しい企画を凝らしていただいて、一層ファンが楽しめる、そういった施設群にしていいただければと思います。

そして、この施設を中心といたしまして、今年秋には「広島ボール・パーク・タウン」が、いよいよ完成をするという状況になっております。そして、この「広島ボール・パーク・タウン」を中心に、ご覧いただければわかりますように、「南口 B ブロック」・「C ブロック」の再開発ビルが整ってまいります。そして北であれば、「二葉の里地区」の建設工事も進んでおります。そしてそこを繋ぐ、「広島駅の自由通路」の整備等も進められておりますので、こういった施設群が一体となって、とりわけ「広島ボール・パーク・タウン」を含んで、広島駅周辺の将来の姿というものが、絵図面から現実のものになってきているのかなというふうを受け止めておりまして、広島元気の源というふうを受け止めております。

そういう意味で、今日は、委員の皆様、そういった位置付けにあるこの広島市民球場の運営状況、さらには利用実績など報告させていただきたいと思えます。

その上で、それを踏まえて御意見をいただき、これからの施設の改善や運営面のプラスになる様々な魅力付けについて、是非とも忌憚のない御意見をよろしくお願いいたします。これを私の御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。引き続きまして、委員の御紹介です。

本協議会は、球場の運営に関する報告、審議などを行うことを目的として、委員 20 名で構成されております。時間の関係もございいますので、委員の皆様への御紹介は、御手元の「委員名簿」に代えさせていただきます。

なお、本日は、高垣委員、山下委員、西川委員、久光委員、圓山委員の 5 名の方は、所用により御欠席となっております。

本協議会は、委員の過半数の出席により成立することになっており、本日は 20 名のうち 15 名の委員に御出席いただいておりますので、有効に成立しております。

次に、事務局の職員につきましては、竹内副市長以下、担当の職員が御手元の「配席表」のとおり出席しております。

なお、本日は、議題の関係上、(株)広島東洋カープの桂管理本部長にも、事務局側に出席していただいております。

ここで市長は、所用がございいますので、退席させていただきます。

それでは、御手元にお配りしております資料の確認をお願いいたします。

本日の「次第」、「配席表」、「委員名簿」それと別綴じの「平成 27 年度広島市民球場運営協議会資料」でございます。本日の会議は、御手元の次第に沿って進めてまいりたいと考えております。

それでは、ここからは、会長に議事の進行をお願いいたします。

会 長： 会長の深山でございます。議事進行を務めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。早速議題に入ります。

まず、「議題 1 広島市民球場の運営状況等について」であります。内容について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 広島駅周辺地区整備担当課長の高野と申します。よろしくをお願いいたします。

座って説明させていただきます。それではお配りしております「広島市民球場運営協議会資料」、こちらの 1 ページをご覧ください。

まずは、「議題 1 広島市民球場の運営状況等について」です。

市民球場では、平成 21 年度から 30 年度までの 10 年間、(株)広島東洋カープ様に球場の指定管理者として、施設の管理運営を行っていただいております。指定管理者の運営の仕組みですが、カープ球団やアマチュア野球のチーム等から徴収す

る利用料金を財源として、維持管理費に充てるとともに、最低 2 億 1,100 万円を市に納付してもらうという利用料金制度を導入しております。

「(1) 平成 26 年度指定管理経費等の収支状況」をご覧ください。

こちらの表は指定管理者としてのカーブ球団の収支の状況を表したものです。収入・支出ともに予算に比べ決算のほうが上回っております。収入につきましては、プロ野球の有料入場者数が 100 万人を超えた場合の加算金をいただく仕組みになっていますが、皆様も御承知のように、非常に好調で、見込みを大きく上回っております。予算よりも決算が約 7,700 万円上回っております。

一方、支出につきましては、一番下の欄のその他の部分、これは施設の維持管理経費等ですが、経費節減等に努められた結果、約 900 万円決算額が予算額を下回っております。その結果、下から二段目の市への納付金の決算額が予算額よりも約 8,600 万円上回る結果となりました。市ではこの納付金を、球場建設にあたり発行しました市債の償還財源に充てております。

続きまして、「(2) 観戦環境の改善等」についてです。

ここでは、平成 28 年のシーズンに向けて新たに整備した主な施設を御紹介いたします。

まずは、「ア 芝の張替」です。

これはカーブ球団が整備されたもので、内野、外野、フェールグラウンドも含めまして、すべての芝を球場開設後、初めて全面的に張替えました。先月末に完了し、右上の写真のように、美しい天然芝が姿を現しています。

次に、「イ スコアボード裏コンコース拡張」です。

1 階席の後ろ側で球場を一周するコンコース、これのスコアボード裏の所をイベント等に活用できるよう拡張するものです。イメージパースをご覧くださいますと、真ん中のグレーの所がコンコースですけれども、ちょっと切れておりますが右端にスコアボードがあります。そのスコアボードの裏の所、左上のところは拡張部分でございます。こちらカーブ球団が整備されたもので、今月下旬に完成予定となっております。

次に、「ウ グッズショップ拡張」です。

球場の正面左手の 1 階・2 階にグッズショップがございますけれども、こちらが大変人気がありまして、手狭となっておりますので、2 階部分を拡張しました。こちらカーブ球団が整備されたもので、昨年末に完成済みです。

以上で、議題 1 の説明を終わります。

会長： ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、御質問や御意見があれば、お願いします。

それでは、続きまして、「議題 2 平成 27 年度施設利用実績について」から「議題 5 その他」までを一括して、事務局から説明をお願いします。

なお、「議題3 2015年カープ球団の事業実績について」は、(株)広島東洋カープの桂管理本部長から説明をお願いします。

事務局： 続きまして2ページをご覧ください。

「2 平成27年度施設利用実績について」です。

まず、「(1)施設利用日数」ですが、平成27年度はプロ野球興行で合計76日、高校野球や社会人等のアマチュア野球について、先ほど御説明しました芝の張替の影響で、例年より少なく、46日となっております。その他イベント、無料のコンコース開放、雨天中止となった日数も含め、合わせて263日を利用しております。

次に、「(2)施設見学」です。

コンコース開放、カープ球団でガイドを付けられて有料で案内しているスタジアムツアー、それと幼稚園、小学校、中学校の児童・生徒等を対象とした無料の社会見学をそれぞれご覧の日数、人数で実施しており、合わせて例年並みの165日、約4万人の利用がありました。

続きまして3ページをご覧ください。

「(3)プロ野球興行時の来場者動向」です。

球場がオープンした平成21年度から毎年9月に行われる1試合でアンケート調査を実施しております。過去5年分を経年で取りまとめたものを掲載しております。

「ア 調査概要」です。

平成27年は、9月15日火曜日の巨人戦でした。ほぼ満員の3万1,686人の入場がありまして、2,200枚のアンケート用紙を配布しました。これに対しまして、有効回収率は48.3%です。平成26年までは毎年土曜日のデーゲームに調査しておりましたが、今回初めて平日のナイトゲームで調査しております。そのため、これから御説明いたします調査結果にも、その影響が表れているものと思われま

次に、「イ 調査結果」です。

まず、「(ア)性別」です。

一番下が平成27年になりますが、平成27年もカープ女子の盛り上がりが続いておりましたようで、ピンクで示しております女性の割合が初めて半数を超えております。

「(イ)年代」です。

平成27年は、右下の方の薄いピンク色と白色で示しております50歳代と60歳代以上が、合わせて4割を占めています。逆に、平日夜のためと思われるけれども、ファミリー層の中心とみられる30歳代と40歳代が、例年より少なくなっております。各年代の方が幅広く来られているという状況でございます。

続きまして4ページをご覧ください。

「(ウ) 来場者住所」です。

年によって調査日の対戦相手等の影響もありまして、例えば平成 23 年は阪神戦でしたので、関西など県外からの来場者が多かったようですが、毎年大体広島県外、県内、広島市内、それぞれ概ね 3 分の 1 ずつとなっております。平成 27 年は、平日のナイトゲームということで、近いところからのお客さんが多かったのと、逆に、県外からの来場が少なかったということだと思われま

す。「(エ) 来場回数」です。

平成 27 年は、8 割以上が 2 回以上のリピーターで、6 回以上も 5 割を超えています。やはり、平日夜で近くからの来場者が多かったということが影響していると思われま

す。5 ページをご覧ください。

「(オ) 野球観戦後の交通手段 (帰りの交通手段)」です。

例年、公共交通機関の利用者が 5 割程度となっております。平成 27 年度は、濃いピンクで示しております自家用車の利用割合が高まっていますが、これは昨年、広島駅南口の再開発ビルの駐車場や新幹線口の二葉の里に、暫定駐車場がオープンした、そういった影響があったのかもしれない。

「(カ) 観戦人数」です。

毎年 9 割前後が 2 人以上のグループとなっております。グループ席の人気の非常に高いというふう聞いておりますので、こうした結果につながったものと思われる。平成 27 年は、5 人以上の割合が減っており、平日夜ということで大きな団体の来場が少なかったのかと思われま

す。次に、6 ページをご覧ください。

「(キ) マツダスタジアムの評価」です。

球場の楽しさ・雰囲気、清潔感など、様々な項目で評価しています。すべての項目で、ピンク系の色で示しております「満足」、「やや満足」の割合がブルー系の色で示しております「やや不満足」、「不満足」の割合を大きく上回っております。高い評価を得ていると考えております。グラフの一番下の総合的な満足度については、「満足」、「やや満足」を合わせますと 87.8%となり、非常に満足度の高い球場という結果を示しております。こちらは経年での比較は記載していませんが、昨年度と比べますとすべての項目で「満足」と「やや満足」を合計したものが増えており、昨年度を上回っております。

7 ページをご覧ください。

「ウ その他」として、アンケート調査の自由意見欄に頂いた主な意見を紹介しており、概ね好印象の意見となっております。こちらにつきましては、説明を省略させていただきたいと思

います。議題 2 については、以上でございます。

事務局： 続きまして、「議題3 2015年カープ球団の事業実績について」説明をさせていただきます。

8ページをご覧ください。

「(1) プロ野球入場者数」が、去年の入場者数でございます。新球場7年目のシーズンでございましたが、皆様の御支援をいただきまして、公式戦の入場者数は本拠地球場204万1,951人、その他球場6万8,315人、合計211万266人となりました。前年比20万5,485人の増加となっております。

「(2) 経営状況」になりますが、2015年12月決算の数値でございます。この数値は、3月22日開催予定の株主総会の承認をいただきまして、確定することとなりますが、売上高は148億3,256万円となりました。前年比19億5,835万6千円の増加となっております。また、当期純利益は7億6,133万4千円、前年比1億8,714万円の増加となりました。

「(3) 地域貢献活動」でございますが、啓発活動、地域交流活動など積極的に取り組んでまいりました。その結果、活動の合計件数は320件となっております。

以上、議題3についての説明を終わらせていただきます。

事務局： 続いて9ページをご覧ください。

「議題4 命名権について」です。

命名権制度は、いつまでもこの素晴らしい球場の環境を維持できるよう、計画的に大規模改修や施設改善等を行うための財源を確保するために導入したものです。

「(1) 契約概要」ですが、平成21年度からの5年間に引き続きまして、平成26年度からの5年間も、マツダ(株)様に命名権取得者となっていただいております。命名権料として毎年2億2,000万円を納めていただいております。

「(2) 社会貢献活動」です。

命名権取得者であるマツダ(株)は、球場を核として地域に貢献するパートナーとして様々な社会貢献活動に取り組んでおられます。ここでは、平成27年度の活動実績を御紹介しています。表の順番に説明いたしますと、

「(ア) 広島県営林J-クレジットの購入」です。

球場のナイター照明で消費する電力の発電時に発生する温室効果ガスの相当量を、県営林で吸収してもらうために、その間伐と整備費相当を負担されています。

「(イ) 福祉車両の贈呈」です。

これは、球場の来場者が累計で100万人達成するごとに福祉車両を贈呈されているもので、平成27年度は2回この節目がありました。5月には累計1,000万人を達成し「広島マックハウス」へ、8月には累計1,100万人を達成し「広島南第二作業所」へ、それぞれ福祉車両を贈呈されました。

「(ウ) 球場周辺の清掃美化活動」です。

プロ野球シーズン中に、マツダ(株)社員とその家族により、球場周辺の清掃を実施されています。

「(エ) ヘリテージコーナーの設置」です。

広島市、カープ球団、マツダ(株)、それぞれの挑戦をテーマにしたディスプレイを球場のコンコースに設置されています。

「(オ) 球場の情報発信」です。

マツダ(株)のホームページ等各種媒体を通じて球場の情報を発信されています。

続きまして10ページをご覧ください。

「議題5 その他」として、球場周辺地区の開発の状況を説明します。

プロ野球が開催されない日も、球場周辺に賑わいを創出するために、「広島ボール・パーク・タウン」のコンセプトの元に、民間のノウハウ等を活用して、集客施設などを整備しています。球場の東側の地区については、ルネサンス、コストコと分譲マンションが平成26年2月までに完成しています。球場の西側の地区については、カープ屋内練習場と婚礼施設が平成27年3月までに完成しており、分譲マンションが今年9月の完成を目指して建設中です。下のイメージパースは、三井不動産レジデンシャルが建設中の、15階建て112戸の分譲マンションです。目の前が球場のプロムナード入口という立地です。こちらのマンションの完成をもちまして、球場周辺地区の開発が完了いたします。

議題4、議題5の説明は、以上でございます。

会 長： ありがとうございます。ただいま「議題2」から「議題5」までを御説明申し上げたのですが、どなたか御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

委 員： 折角なのでここで一言申し上げたいと思います。毎年御礼申し上げているのですが、私どもが乳がんのキャンペーンをやりまして、その時にカープ球団からマスコットマークの使用許可をいただきました。そして、このマークが大変好評でして、市民団体が作り出したものとしては、全国コンクールで一位になりました。それから、東北の被災地からも注文がまわってきて、開かれた市民活動に御尽力いただきましたことに、感謝申し上げます。

会 長： それでは、恒例の松田委員に、今シーズンに向けた抱負を一言お願いできますでしょうか。

委 員： 市長さんは、楽しませて、喜ばせるというお話をされましたけれども、去年は楽しませて悲しませたという情けない結果に終わりましたけれども。今年こそ、楽しませて喜んでもらえる、そういった試合をやりたいと思っています。皆さんは、おそらくマエケンが抜けた穴、15勝200イニングだとか、非常に心配をされ

ていると思いますけれど、いつかはこういうことが来るということ、私どもは予想しておりましたので、ピッチャーをとってきて、この若いピッチャー達で抜けた穴を埋めることができるような準備をしております。

それと、抜けたということで、チャンスが生まれて、逆にみんなの競争心がすごく高くなっています。また、今年のキャンプなどで怪我人が出たりしたら、逆にその怪我人を追い越そうとする若い選手達が出てくるわけですね。それが非常にいい形でぐるぐる回っているから、オープン戦でうまくいってるように見える。

ただですね、しかし本番は違うんですからね。オープン戦で強くて何にもならんですからね。やっぱり本番になった時に、しっかり頑張って皆さんに楽しんでもらって、なおかつ、秋には喜んでいただくということを目指してやりますので、よろしく願いいたします。

会 長： 今の松田オーナーのコメントに御質問等あれば、お願いします。

委 員： カーブファンがものすごく増えたでしょう。この広島だけでなく、全国にも。どんな増え方なのでしょうね。

委 員： 私もこれは予想がつかんのですよ、全然ね。だから一過性のブームとして考えるか、それとも関東に関しては私どもいろいろな形で力を入れたりなんかしていることはそうなんです。全体的に関東にファンがいるということがわかったんで、それを逆に広島に招待したりとか、関東でイベントを開いてみたりということで、全国的にファンが広がったような感じでとらえていただいているんじゃないかと思うんですけれどもね。

委 員： うれしいことですね。広島が発信元になって。

委 員： 地味な球団で、地道にやっているというところが共感を得ているのかもしれない。「声出し」については、つまらんことをしましたけれどもね、昨日発表をしましたけれども。非常に申し訳ないと思っております。

地道に一般のファンの人と一緒に、寄り添うような形で球団経営をやっていきたいし、選手達も一生懸命練習をしていって、さっき言ったように秋にみんなに喜んでいただけるよう結果を出したいと思っています。

委 員： 女性ファンが増えたというのは、全国的な傾向だろうと思うんですけれども、やっぱり広島東洋カーブに触発されてというのもあるのでしょうか。

委 員： やっぱり女性を対象にしたというか、企画ものとかいうのは結構、他球団もし

っかり力を入れています。私どもは三世代ということが多いんですね、どちらかという、三世代で来ていただける球場を目指していて、あまり女性にターゲットを絞ったという形ではないのですけれども、三世代ということになると、やっぱりお母さんとお子さんという形が多いから、結構女性が多い。それがうまくお母さん、お嬢さん、お嬢さんのお嬢さんというふうな形で、いろいろずっと繋がっていくという部分はあるんじゃないかと思います。

委員： 来場者のアンケートの意見にもあるんですけども、私もいろいろ、チケットを手に入れようとするが全滅でした。何かこれだけ多くのお客様が、また喜んで楽しんでいるんですから、少し立見席でも増設しようかという話はないですか。

委員： やっぱり快適に観ていただくには、キャバが3万3,000人なんですけれども、やっぱり3万1,000人台が理想で、3万2,000人台までいくとちょっと快適さから落ちてきているような気がします。

これ以上、増設しようにも場所がないですよ。だから、入ってない試合もあるので、もしよろしかったら、入っていない試合を買っていただきたいんですけども。申し訳ないですけど。

委員： うれしい悲鳴ですね。

委員： よろしいですか。今こちらの方でもお話が出たんですけど、暑い時は早く開門してほしいという声があるんですね。

委員： それは僕も気になったんです。これはどういう意味合いなんだろう。開門を早くするという事は、夏のナイターだったら、15時には開門しているはずなんですよね。それは暑い中という格好になる。逆にデーゲームは、7月の初めぐらいまでで、ほとんど土日ですね。その頃の話なのか。

委員： 多分、席取りじゃないかと思いますが。早く行って、とにかく早く内野自由席を取りたいということじゃないかなと。

委員： 60代男性からの声なので、60代の方が、内野の自由席までかけて階段を上っていったら、ちょっとつらいかもしれませんね。

委員： それぐらいチケットが取り難いということで。

委員： チケットはあるんですけどもね。だから、すべてのいい試合ばかり、自分の

観たい試合というのはみんなが観たい試合が結構多いですから。

委員： 福祉の関係で、私どもは、毎年、認知症の家族会が大変球場でお世話になっていて、いろいろ御配慮を頂きまして、御礼を申し上げます。それ以外の福祉関係の招待についても、引き続きよろしく願いいたします。以上です。

委員： 市の方にお尋ねするんですが、以前ここはムービングウォークか何かの計画があったかと思うんですが、あれは目途というか、それとも全く現状のままになるんですかね。

事務局： ムービングではございませんが、広島駅と球場方面を繋ぐペDESTリアンデッキのことだと思うのですが。計画については、他の部署が今、計画を検討しているところです。広島駅のすぐ東隣でCブロックの工事をやっております、これが今年の12月に完成する予定です。そちらのCブロックのビルの上に、そのペDESTリアンデッキの一部ができますので、平成28年度中に一部は姿が見えてくるということになります。そこから先の計画は、まだ検討中という状況でございます。

委員： ムービングじゃなくて普通の歩道が、ということですね。

会長： それでは、松田オーナーも言われましたように、楽しんで喜んでいただけるよう頑張っていたきたいと思います。

以上を持ちまして、本日の「広島市民球場運営協議会」を閉会といたします。ありがとうございました。

議事録署名者

深山英樹